

Ⅱ ミュンヘン大学生との交流 ～グリムの里 夏期日本語講習会～

平成4年に発足した石橋町国際交流協会から、継続して行われているこの事業は、平成28年で23回目を迎え、毎年8月にミュンヘン大学生10名程度を受け入れています。学生は下野市内の一般家庭にホームステイしながら、様々なプログラムに参加します。日本語の授業をはじめ、日本文化体験として市内ボランティアの指導により、書道・茶道・弓道・浴衣の着付けのほか、益子焼手びねり・石橋高校や自治医科大学などの学生との交流会などを通して、ミュンヘン大学生に日本語や日本文化を学んでいます。

下野市国際交流協会発足後、延べ70名のミュンヘン大学生とホストファミリーが参加し、ご協力いただいた体験講師や学生の方々も含め、この事業による交流の輪は年々広がり続けています。書道体験 小金井 慈眼寺にて



Ⅲ 日本語教室 ～市民発の支援が町国際交流協会ですさらに進化～



市内の小林丈夫さん(故人)が始めた日本語教室は、国際交流協会の語学委員会事業の一つとなって、平成28年で9年目になりました。石橋公民館とグリーンタウンコミュニティセンター(らいさぎ第3号2ページ参照)の2か所で開催されており、生徒数は41名です(平成28年度)。市内だけでなく小山市・壬生町・上三川町からの参加者もいます。近隣自治体で土日に開催しているところが少ないため、ここまで生徒が増えたようです。生徒の国籍は、中国・ベトナム・フィリピン・ブラジル・トルコ・モンゴルなど様々です。1回90分間をほとんど日本語で行い、本人のニーズに合わせて1対1で教える(写真上)ところが好評だそうです。一方講師が少ないことが、団体の悩みであり、平成28年度は、一人でも多く講師を増やしたいと日本語教室のボランティア講師養成講座を開催しています。興味のある方は、国際交流協会にお問い合わせ下さい。

毎年2月には日本語スピーチ発表会(写真下)が開催されており、1年間の学習の成果を生徒の皆さんが披露する機会になっています。この時は一般の方の参加も可能です。国際交流協会：TEL 0285-32-8887(市民協働推進課内)



つながッテルな!
条例34条

(人材及び組織の育成)

市民、議会及び市は、市民が主役のまちづくりを推進するため、自発的なまちづくりの担い手及び自律的なまちづくり組織が育つよう支援を行い、その学習環境及び拠点の整備に努めるものとする。